

No.	プロジェクト名称	代表者	構成員	担当教員	プロジェクト実施報告
1	プラスちゃんといっしょープラスと学ぶ理科実験教室ー	文芸文化 16KG022 後藤 詩乃	18	文芸文化学科 星野 祐子	新座市の子ども放課後居場所作り事業「ココフレンド」で、「プラスと学ぶ理科実験教室」と題して、ペーパークロマトグラフィー実験教室を3回開催し、小学生が延べ170名参加した。 【大和田小学校:8月2日(木)、東野小学校:8月7日(火)、東北小学校:8月23日(木)】 「ココフレド」の担当者に企画の目的を伝えに行ったり、一人一人が責任をもって役割を担うよう定期的にミーティングを行ったりした。メンバーそれぞれの個性を生かすことができた。小学生からは発見と驚きの感想が多くあった。
2	ユネスコ世界遺産和紙×小川七夕まつりサポートプロジェクト	文芸文化学科 16KG050 矢澤 桃夏	20	文芸文化学科 松永修一	小川町七夕まつりは7月28日・29日の開催だったが、台風の影響で28日が中止になり、29日のみの開催となった。午前中は雨が降り続け、カッパや傘をさしての準備になり、とても大変だった。十文字学園女子大学のバルーンリリースのイベントは天候が心配だったが午後からは晴天となり無事にできた。バルーンリリースは私たち十文字学園女子大学として毎年やらせてもらっているイベントなのでこれからも続けていきたい。
3	みんなで輝こう☆織姫祭2018	文芸文化学科 17KG047 安田優李	11	文芸文化学科 樋口一貴	付属幼稚園の園児と地域の方々に参加した「スタンプラリー」、多くの人に自分のお願いを紙に書いて貼ってもらい、みんなのお願いで天の川を作っていくという「星に願いを」を行った。また、在校生や留学生が共に交流を図ることを目的とした「お菓子流し」、学生の書いた川柳を発表する「川柳展覧会」を行った。プロジェクトを考え、実行する上で、構成員同士の絆が深まった。園児や他学科の学生とイベントを通して交流を図ることができた。文芸文化学科以外の学生の参加が少なかったため、より他学科の学生に参加してもらえるような宣伝が必要だった。また構成員同士の連絡や相談の機会を多く設ければ、よりよいプロジェクトになったのではないかと考えられる。
4	テコンドーで十文字を盛り上げよう	健康栄養学科 15KE012 石井咲蘭	1	健康栄養学科 高橋京子	第12回全日本学生テコンドー選手権大会 女子62kg級準優勝（2018年9月9日かんぽの宿岐阜・羽島 体育館にて開催） 学内にポスターを掲示(12/1～2/17)、多くの人に注目してもらうことができた。 目標にしていた第12回全国テコンドー選手権(2019年2月17日千葉県・千葉ポートアリーナにて開催)は体調不良で出場できず、残念だった。
5	1キロいいね！弁当	健康栄養学科 16KE022 木下瑞貴	13	健康栄養学科 徳野裕子	1kg弁当試作のための参考として、中目黒にあるKIRARA食堂へお弁当を食べに行き調査を行った。4回試作を重ね、4回目にフットサル部の4名に試食してもらってアンケートを取った。アンケートをもとに献立を改善し、5回目の試作を行った。栄養バランス、見た目がよく食べやすい重量1kgの弁当ができた。栄養価計算・原価計算をし、桐華祭で中間報告を行った。桐華祭では5回目のレシピを配布し、とても喜ばれた。又、来場者80名の方にアンケートを行ったところ、展示内容:大満足45人、満足33人と好評で、このお弁当を買いたいと答えてくれた方は71人ととても多かった。希望価格は900円前後が1番多く、1000円を超えると一気に少なくなったので、1000円以内で販売することが望ましいと分かった。 桐華祭でのアンケートをもとに、お弁当を作っていただく企業に向けて企画書を作成した。
6	美しく健康におしゃれをしよう	人間発達心理学科 16KC051 高戸唯	9	人間発達心理学科 齋藤千景 メディアコミュニケーション学科 加藤亮介	平成29年度の学生生活調査で、おしゃれ障害について知る人が少なかったため、正しい知識を身につけ、おしゃれ障害を減らすことを学内に周知しようと考えた。おしゃれ障害について勉強し、メディアコミュニケーション学科の加藤亮介先生に協力していただいた作成したポスターを、1月21日～1月29日に掲示した。ポスターにはQRコードを付け、おしゃれ障害の情報をスマホからみられるように工夫した。おしゃれ障害については、メイク、ネイル、カラーリング、脱毛、カラーコンタクト、ヒールで起こるものについての情報を発信した。期間は短かったが、多くの人に知ってもらえたと思う。